2016.1222　12月例会用資料

ASK歩く会
玉川上水(2)
武蔵砂川駅⇒一ツ橋学園駅

世話人(金作・原田・佐々木・大出・稲田)

開催日　2016年11月21日(月) 曇り

出発　新百合ヶ丘駅

午前　9時11分

解散　午後　4時00分(玉川上水駅)

参加者　18名

コース

新百合ヶ丘駅 ⇒多摩センター駅 ⇒玉川上水駅⇒

武蔵砂川駅⇒新谷橋⇒金比羅橋⇒(国立音楽大学)

⇒(玉川上水駅)⇒小平監視所⇒上水小橋⇒野火止用水

⇒新堀用水 ⇒胎内掘 ⇒小川橋(国分寺崖線北端付近)

⇒朝鮮大学⇒武蔵野美術大学(昼食) ⇒(鷹の台駅)⇒

⇒小平中央公園 ⇒(津田塾大学)⇒一橋大学(小平国際

ｷｬﾝﾊﾞｽ) ⇒一ツ橋学園駅 ⇒国分寺駅⇒立川駅⇒

⇒ 登戸駅 ⇒新百合ヶ丘駅

玉川上水

幕府は１６５２年に、増え続ける人口に対応するため、多摩川の水を江戸に引き入れる壮大な計画を立てた。

工事は、１６５３年４月４日に着工し、わずか８か月後の１１月１５日（この年は閏年で６月が２度あるため８か月となる）、羽村取水口から四谷大木戸までの素掘り（崩れの補強を行わずに掘削すること）による自然流下方式の水路が完成。

・全長約４３キロメートル
・標高差はわずか約９２メートル

(参)江戸の人口

1590年	寒村
1603年	約 6万
1610年	約 15万
1632年	約 38万
1657年	約 57万
1693年	約 71万
1721年	約100万
1854年	約115万

前回 武蔵砂川駅到着20160921

前回は、西武拝島線の玉川上水駅の1つ手前駅の武蔵砂川駅で終了。

武蔵砂川駅前出発

元気に出発！

新谷橋

前回最後の渡った橋です。水面の高さに注目

金比羅山

歩き始めてすぐでしたが、この山、気づきましたか？

小平監視所付近

多摩川の水
セグロセキレイ
ここから下流は
1986年以降多摩川
上流下水処理場
（昭島市）の処理
水を流している
東京都水道局
小平監視所
立川第4 中
羽村の堰より
約 13 km
上水小橋
上水幸緑地
再生水
ゴミ
焼却場
中島町
南公園
野火止用水
（この辺は地下）
のびどめ
再生水
多摩川の水
ここまでの水は全て東村山浄水場へ
（東京都民の飲料水）
◆野火止用水（伊豆殿堀）
1655年、川越藩主松平
伊豆守信綱が掘らせた
用水路。1984年に清流復活
松の木通り
桜街道
ひがしやまとし
東大和南 高
東京都
和市
西中島橋
カワセミ
胎内堀（たぬき堀）
明治のシールド工法
都立
薬用植物園
村山街道
（青梅橋）
小川橋
立川通り
彫刻の谷緑道
新堀用水
多摩川の水
立川通り
若葉 小
地域上
東小川橋
上宿 小
（小平市）
コゲラ
（小平市の鳥）

上水小橋

川面に降りられる唯一の場所です

野火止用水案内図

1655年、川越藩主松平伊豆守信綱が掘らせた用水路。1984年に清流が復活した。

平林寺　20151125

野火止用水について、勉強中

新堀用水　胎内堀出口

新堀用水は、小平監視所から分水を受け、桜橋までの間、およそ5．5kmを玉川上水の北側に沿って流れる。

胎内堀は、明治時代のシールド工法。構造は素掘りの横穴式で、関東ローム層、粘土質のため水を含むとより粘着性が増し、コンクリートや板などの補強がなくとも殆ど崩れることがない。たぬき堀ともいう。

国分寺崖線北端付近通過

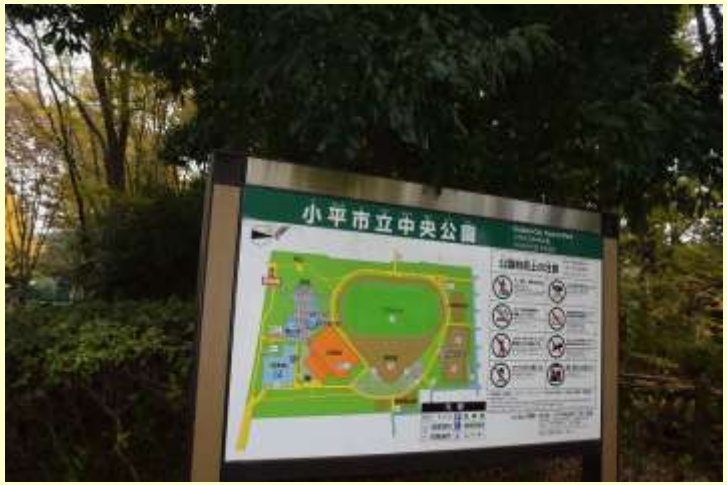
川面が、はるか下です

国分寺崖線

古代多摩川が南へと流れを変えていく過程で武蔵野台地を削り取ってできた河岸段丘の連なりの1つ。

立川市砂川九番付近から始まり、東南に向かって野川に沿って延び、東急線二子玉川駅付近で多摩川の岸辺に近づいて、以後多摩川に沿って大田区の田園調布付近まで続いている。

小平市立中央公園



予定のコースを一寸外れて、小金井市立中央公園へ

武蔵野美術大学正門前

昼食を食べに構内へ

武蔵野美術大学　学食(昼食風景)

特定食　500円

川面が戻ってきました

一橋大学(小平国際キャンパス)

放送大学東京多摩学習センターおよび独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が キャンパス内にある。

途中風景

紅葉と落ち葉を楽しみました

一橋学園駅到着

秋の１日を、堪能しました。次回は、ここからスタートです。

懇親会

登戸駅のいつもの天福楼にて

ご静聴有難うございました

この後は、

12月14日(水)　47士の歩んだ道(再)
吉良邸(両国) ⇒ 泉岳寺(高輪)

です。